

スマート水産業の取組について

《対策のポイント》

令和3年に策定した「千葉県スマート水産業推進方針」に基づき、県が水産業者や民間企業に対し、情報提供などサポートをすることで、水産業者が自立的にスマート水産業を実践できる基盤づくりをすること。また、新しい資源管理体制の整備や操業支援等を拡充すること。

《事業目標》

漁業者等、民間企業、研究機関、行政が目標や方向性を共有して、水産現場への新技術の実装を加速化させる。

〈事業の内容〉

- 1 スマート水産技術導入促進事業** **【新規】** 540千円（県）
民間企業による実証試験や専門家による研修会の開催により、本県水産業のニーズに合致した技術開発と漁業者の技術導入を促進
- 2 千葉県漁獲報告システム整備事業** **【新規】** 16,960千円（国）
漁協の販売システムからデータ収集し国のシステムにデータ送信する 県のシステムを構築、資源評価の高度化を図る
- 3 千葉県水産情報総合利用ネットワーク高度化事業** **【新規】**
16,500千円（県）
海況情報の充実や利便性の向上により漁業操業の効率化を支援
- 4 ICTを利用した漁業操業支援事業** **【新規】**
9,200千円（国・県）
- (1) 急潮予測システム開発事業（国・県）
定置網に甚大な被害を与える急潮を事前に予測し、被害防止対策につなげるためのシステム開発
- (2) 漁船漁業振興事業（県）
ICTを利用して水産重要種の漁獲情報と環境情報の関係を把握し、小型底びき網漁業（銚子地区）のきめ細かい操業による所得向上を支援

〈事業イメージ〉

1 スマート水産技術導入促進事業

スマート水産業を実装するための基盤づくり

①現場の生産者等が積極的にスマート水産業に取り組みたくなるような
成功事例の創出・拡大

②データ利活用の推進に向けた
**データポリシーの確立、
データの標準化**

③将来に渡ってスマート水産業が
自主的・自立的に取り組まれて
いくための**人材育成・啓発普及**

更に基盤が強化

④現場の生産者等における
スマート水産業の取組みへの
やる気モードがON

⑤自立的な水産業のスマート化が
推進され、**資源評価・資源管理
が高度化、水産業が成長産業化**

2 千葉県漁獲報告システム整備事業

資源評価・資源管理の高度化

- ・データのフル活用による資源評価の精度向上、評価対象魚種の拡大
- ・適切な数量管理の実現

3 千葉県水産情報総合利用ネットワーク高度化事業

4 ICTを利用した漁業操業支援事業

水産業の成長産業化

- ・データに基づく操業への転換
- ・画像センシングやロボット技術の活用